



特定非営利活動法人日本防災士会 富山県支部

富山県防災士会会報

第 12 号

平成 27 年 7 月 1 日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-9762-8267
(事務局：佐伯)

平成 27 年度通常総会 活動充実に向けて組織を強化 役員理事を充実、7 事業実施部会を立ち上げ

平成 27 年度通常総会は 3 月 21 日、富山県民会館において開催された。

小杉会長挨拶 本会は平成 19 年 5 月に設立以来 9 年目を迎え、20 名からスタートした会員も現在では 115 名に達しております。会員の皆さまには県内各地域において積極的に地域防災力向上に向けてご活躍されていることに深く敬意を表します。



小杉邦夫会長

昨今の情勢から、行政をはじめとする各方面・マスコミ等から本会に対して協力、講演依頼、助言指導、情報提供等の要請がますます増えている状況にあります。

こうした状況を踏まえ、本年の大きな特徴は会員が増えたことに伴い、また本会活動の活発化に向けて、各市町村との連携をこれまで以上に深化し、すばやい情報提供や情報交換ができるように市町村を代表する役員理事を増員したところです。

更に 7 つの事業実施部会（地域連携部会・研修研究部会・啓発交流部会・広報部会・女性防災士部会・10 周年記念事業部会・事務局部会）を立ち上げました。これにより本会の活動が更にスムーズに展開できるものと期待しています。

富山県内防災士認証者は 800 余名と全国に比して決して多くはありませんが、ネットワークの拡大という大きな課題の解決を図りつつ、本年もより一層防災士同士がお互いに顔が見える活動を展開し、本会会員が一丸となって県内の防災・減災に向けて貢献したいと考えております。何卒よろしくお願い致します。

新入会員の紹介 平成 26 年度の新入会員は 20 名。総会



に出席した 7 名が自己紹介された。

審議結果 すべての議案が提案どおり承認された。

新役員 副会長に野田隆志、事務局長に佐伯邦夫、事務局次長に佐々木隆、古木健二、会計に赤坂清和、新理事に口岩俊、川戸真二、八木里見、島崎定則、登坂行央、山口哲夫の各氏が就任した。



特別講演 梶座富山大学教授 「地域からはじまる減災」

総会に先立ち、本年もスキルアップを図るための研修会を行った。講師は富山大学人間発達科学部梶座圭太郎教授。



講演する梶座教授

地域からはじまる減災に向けて『耐震診断から事前復興』が重要であると力説された。

講演の中では、「事前復興なしでは人材流出により復興できない」、「復興ファシズムとは行政が被災者や被災地の意見を聞かず自律的な復興を妨げ行政の都合で行うこと」「災害は家族や地域の問題点を浮き彫りにし、限界集落化、消滅可能性都市化を加速」「地震予知に頼らず発生前（事前復興）の対策をとることが重要」「消滅可能性都市にならないために若者、特に女性の参画を重視した街づくりプランの事前復興計画策定が重要」「耐震化は事前復興第一歩、半壊修復で街が持続する」ことを強調されていた。

出前講座勉強会 「パワーポイントを始めてみよう」



6 月 27 日、婦中町ふれあい館において会員相互研修が行われた。講師は野田隆志副会長（写真・左）。出前講座でのプレゼンテーションに「パワーポイント」を活用すると、インターネット上の画像や地図や表を効果的にアピールできること、同時に話のポイントを強調することができることから、聴衆者の視覚・聴覚に効果的にアピールできるとの説明があった。

作成上の工夫として、
①訪問先の地域の特性や受講者のニーズを事前に把握する。

②講座の前に「動画」を流したりして時間を活用する。

③90 分の講座でスライドは 60～100 コマ程を用意し、配布資料は A 4 用紙にスライド 4 コマを印刷する。など分かりやすく講義していただいた。



会員の
自己紹介

台風の強風下での大火災が
きっかけで防災士に

防災士(小矢部市) 荒永誠治

私は地区の自治振興会の薦めで、平成25年秋に防災士養成講習会を受講し11月に認証得て防災士になりました。当地区では平成3年に台風の強風下で大火災が発生しました。自然の猛威を強く感じたことをいまだに忘れません。自治会のお世話をするようになり、何か防災や減災の行動が出来ないか模索していたところ防災士のことを知り、地域を挙げて取り組むきっかけが出来ると考えました。



現在は、地区住民の啓発活動に力をいれ、形式的な防災組織ではなく、ライフライン（水、電気、食糧）の停止時の備えや対策など具体的な行動計画づくりに取り組み、忘れたころに来る自然災害に着実に対応するため「人命第一」の基本を掲げ地域の皆さんが安心して住める地区にしたいと粘り強く進めていきたいと考えています。また、アマチュア無線の活用にも取り組み、非常時のネットワーク確保に備えたいとも考えています。

これらを実現するためにも近隣の防災士と連携を密にして、自らのスキルアップに努めていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

北信越支部連絡協議会 総会・研修会

7月4日、敦賀市の日本原子力発電（株）敦賀総合研修センターにて、平成27年度北信越連絡協議会総会が開催された。本会からは会長以下役員が出席し、午後からの研修会には8名が参加した。

研修会の冒頭に、渚上敦賀市長の歓迎の言葉、日本防災士会松尾副理事長の「日本防災士会の現状と課題」、続いて福井大学付属国際原子力工学研究所の安田仲宏教授による「原子力防災と放射線」の講演があった。

4年前の世界を震撼させた東京電力福島第一原発の事故を教訓に、専門家をはじめいろいろな分野の方々の取り組みや原発の正しい認識を解説された。特に気を付けなければいけないのは、誤った知識や風評被害に対する対処の仕方が大切だということであった。また、DVD「もしも原子力災害が起こったら」が各県に1部配布された。（大坪記）



27年度富山県市町村総合防災訓練日程

平成27年6月22日現在

月日(曜)	市町村	備考
8月23日(日)	入善町	入善町消防防災センター
	砺波市	出町中学校、砺波総合病院、ふれあいの森
8月29日(土)	朝日町	朝日町文化体育センター
8月30日(日)	黒部市	村椿小学校
	南砺市	城端中学校
	射水市	片口小学校
	高岡市	成美、横田、万葉、千鳥丘
9月6日(日)	富山県	魚津市・滑川市・上市町・舟橋村との合同訓練
	魚津市	北鬼江ありそドームほか
	滑川市	滑川市総合体育センターほか
	上市町	陽南小学校
	舟橋村	舟橋小学校
9月27日(日)	小矢部市	蟹谷小学校
10月3日(土)	富山市	市民芸術創造センター周辺
11月中旬	立山町	富山県、立山砂防共催
11月15・22日	氷見市	地区防災訓練6地区

※その他 10月25日(日) 富山市「東部ふれあいフェスタ」

第1回例会&交流会のご案内

実施日：平成27年7月25日(土)15:00～情報交換会

1) 例会(15:30～17:00)

富山大学災害対策プラザ(富大正門直ぐ右手の建物)
『南海トラフ巨大地震と連動内陸地震』及び最新情報等
講師：富山大学大学院教授 竹内 章氏(本会顧問)

2) 交流会(18:00～)、会費5,000円(飲み放題)

「八兆屋、駅の蔵」富山駅前ビル(南口)クラルテ 2階
※交流会の申し込みは、7月18日(土)佐伯(事務局)まで
090-9762-8267、E-mail:jnkr491@yahoo.co.jp

防災施設見学「立山カルデラ砂防体験学習会」

実施日：平成27年10月1日(木)(定員20名)

実際に立山カルデラを訪れ、自然、歴史、砂防について自分の目で確かめることができます。

詳細は検討中ですが、カルデラまで行きはトロッコ、帰りはバスのトロッコ団体コースです。富山平野を守る日本屈指の砂防事業や最大規模の崩壊を見学しましょう。

《編集後記》 今年も多く自治体で防災訓練が開催されます。昨年は8つの総合防災訓練に延べ130名余りの防災士が参加しました。防災訓練は繰り返し実施されてこそ、いざ有事の際にその真価が発揮されるものです。人命・財産を守るこの訓練に積極的にに関わり、少しでも県民の防災意識の高揚に努めることができるならば、防災士として何よりの喜びだと考えます。(Y)